

骨材の豆知識 福井県骨材工業組合

骨材ってなあに?  
[骨材の豆知識]

- 骨材の種類は?
- 砂はどうしてできるの?
- 砕石ってなあに?
- 骨材は何に使われるの?
- 福井県の骨材資源

福井県骨材工業組合

福井県の骨材資源

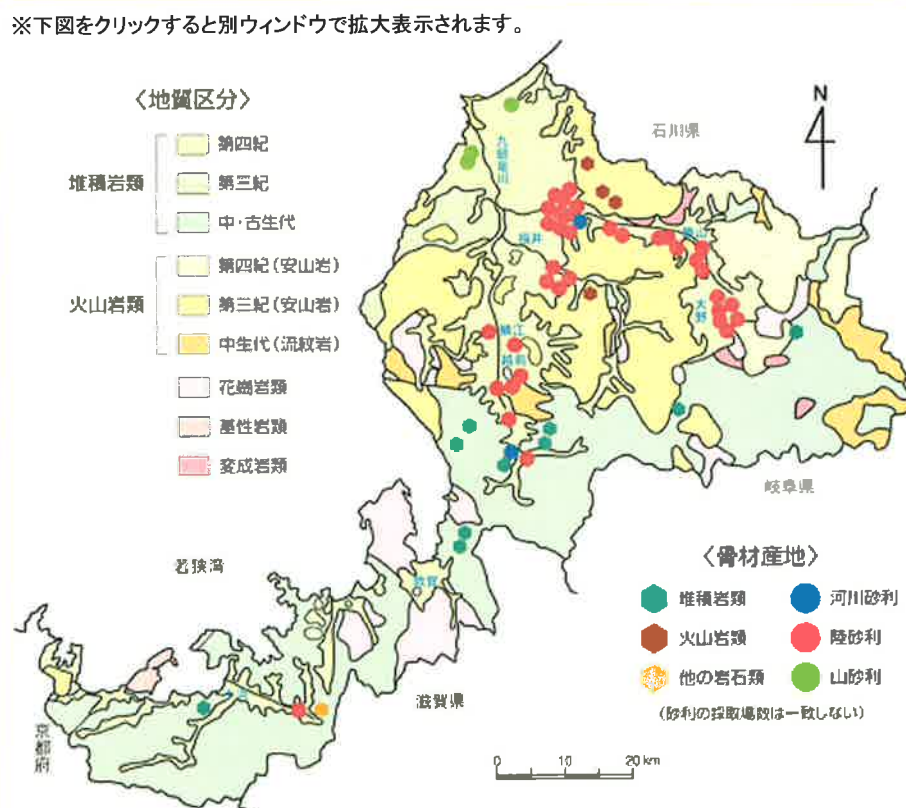
1. 地形・地質の概要

地形は敦賀北東の木ノ芽峠を境として嶺北地方と嶺南地方に分かれる。嶺北は県境付近の高い山地と福井平野等を擁し、嶺南は低い山地とリアス式海岸が特徴的である。  
 地質は武生付近を通る東西線により区分され、北部側は飛騨帯に南部側が美濃・丹波帯に属している。  
 嶺北では武生・大野付近に花崗岩・変成岩類がみられ、武生・大野の南部から岐阜県境にかけては中・古生代堆積岩、中生代火山岩によって構成され、これらを覆って福井周辺から石川県境にかけて第三紀火山岩、大野の東部には第四紀火山岩が分布している。  
 嶺南では中・古生代堆積岩が広く分布し、敦賀周辺には花崗岩、小浜の西部に塩基性岩類がみられる。

2. 骨材資源・利用の概要

(1)砂利  
 嶺北では九頭竜川水系の福井平野、大野盆地、武生盆地等の河川沿いに陸砂利が広く賦存し、また海岸付近には山砂がある。嶺南では北川沿いに陸砂利が小規模に存する。  
 砂利の生産量は580千立方メートル(平成22年度)で骨材全体1,666千立方メートルの35%に当たる。  
 (2)砕石  
 県内には種々の岩石が分布しているが、砕石資源の対象となっているのは、主に武生、敦賀周辺および大野における中・古生代堆積岩の砂岩、頁岩ならびに福井周辺における第三紀火山岩の安山岩類などである。  
 砕石の生産量は1,085千立方メートル(平成22年度)で全体の65%を占めている。

3. 福井県の地質概略と骨材産地



※参考資料／・資料集 日本の砕石資源(2001年10月／社団法人 日本砕石協会)  
 ・平成17年度 骨材資源調査報告書-中部・近畿地方各府県の骨材資源-

(平成18年3月／独立行政法人産業技術総合研究所 地圏資源環境研究部門)

## 5. 統計資料

### ●福井県内年度別 骨材生産量[\[表を見る\]](#)

※別ウインドウで表示されます。

---

福井県骨材工業組合  
〒910-0854 福井県福井市御幸4丁目1番11号 TEL 0776-22-8621・FAX 0776-27-5765  
[E-mail kotuzai@cameo.plala.or.jp](mailto:kotuzai@cameo.plala.or.jp)